

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		結婚相談事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	040101000810	
						単独/補助	単独	所属課	050101	
政策体系	総合計画の施策名		0401 農林業の振興						農林課	
	政策名		04 活力ある産業のまちづくり						課長名	
	施策名		01 農林業の振興						グループ	
	手段名		01 ①担い手の育成・支援						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	06	01	04	05	00	結婚相談事業			
法令根拠	桜川市農業後継者育成条例				事業期間				単年度繰返し (平成17年度~)	
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入					

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	市から委嘱された相談員が農業後継者の結婚支援を行う。		相談員から申込書を受け付けて、各相談員に周知。 相談員同士の情報交換会を開催。 生活環境課、いばらきサポートセンター及びJA北つくばが開催する、ふれあいパーティを相談員へ情報提供。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
相談員から申込書を受け付けて、各相談員に周知。相談員同士の情報交換会を開催。結婚相談員の委嘱。	会議・交流会・研修会の開催	回	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
結婚を希望する農業後継者。	相談者数	人	31.00	35.00	35.00	35.00	35.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
未婚の男女の成婚を支援する。	成婚支援回数	組	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
	婚姻成立件数	組	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	39	19	144	
		事業費計 (A)	千円	39	19	144	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	18		07 報償費	141	
	10 需用費	1		10 需用費	3	
	合計		19	合計		144

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	相談員への連絡調整。 相談員同士の情報交換会を開催。 生活環境課、いばらきサポートセンター及びJA北つくばが開催する、ふれあいパーティを相談員へ情報提供。	相談員への連絡調整。 相談員同士の情報交換会を開催。 生活環境課、いばらきサポートセンター及びJA北つくばが開催する、ふれあいパーティを相談員へ情報提供。	相談員への連絡調整。 相談員同士の情報交換会を開催。 生活環境課、いばらきサポートセンター及びJA北つくばが開催する、ふれあいパーティを相談員へ情報提供。

事務事業名	結婚相談事業	事務事業No.	40101000810	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 農業後継者の晩婚化を防ぐため、平成20年度から農業後継者結婚相談員を委嘱。相談員を通しての成婚件数は少ないのが現状である。結婚希望者は、自主的に結婚活動をしている方もいれば、結婚相談員を頼りにしているケースもある。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 当該事業の対象者を農業後継者と限定せず、一般の方の結婚相談できるようにすべきという意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 結婚問題に取り組むことは、市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 晩婚化、少子化は大きな問題となっているので、行政が取り組む必要があため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 相談員は、それぞれが未婚の解消に努めているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 相談員を必要とする方もいるため、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 一般の結婚相談関係事業との連携または統合
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限の予算で行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 農業後継者となっても、相談員は限定せずに活動している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨ 相談員は、個々に活動しているが、成婚に結びつかないケースが多い。結婚希望者は、市に申し込む事に抵抗がある場合も多く、茨城県のサポートセンターへの入会も動めている。今後ともこの事業の周知を図り、登録者を増やすことにより、多くの方と出会う場を作ることが重要である。																			
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 農業後継者に限らず、市全体として生活環境課の結婚相談事業との一本化を視野にいれながら、相談員と意見交換を行い方向性を決める必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果		⑤																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認